



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日伝

コード番号 9902 URL <http://www.nichiden.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福家 利一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長・IR担当 (氏名) 吉田 富一

TEL 06-7637-7000

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	63,265	8.0	2,993	22.7	3,118	21.9	1,766	24.6
23年3月期第3四半期	58,585	41.9	2,438	274.1	2,558	232.4	1,418	734.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	112.26	—
23年3月期第3四半期	90.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	64,749	53,002	81.9
23年3月期	64,964	52,050	80.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 53,002百万円 23年3月期 52,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

24年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	6.8	3,750	8.7	3,900	8.4	2,220	9.6	141.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	15,943,000 株	23年3月期	15,943,000 株
24年3月期3Q	205,740 株	23年3月期	205,740 株
24年3月期3Q	15,737,260 株	23年3月期3Q	15,737,323 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
5. 補足情報	7
(生産、受注及び販売の状況)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降停滞していた生産活動にも回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、欧州の金融危機を背景とする海外経済の減速や、歴史的な円高のほか、依然として厳しい雇用情勢やデフレの継続など、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻く機械器具関連業界においては、為替の問題、国内の電力不足問題やタイの洪水被害などによる生産活動への影響はあったものの、工作機械の受注は引き続き好調で、自動車関連をはじめとする製造業の生産体制も回復するなど、比較的堅調に推移いたしました。

このような状況下で、当社は『設立60周年 第2の創業 価値観を見直し生まれ変わる年』を基本方針として刻々と変化する環境を直視し、お取引先に対する提供価値を見直し、自らが変わり変化に対応できる営業展開を図ってまいりました。具体的には、お取引先ニーズの収集とそのソリューションを提案すべく、全社的な取り組みとして平成23年6月に東京ビッグサイトで開催された「機械要素技術展」に続き、平成23年9月にポートメッセなごやで開催された「メカトロテックジャパン2011」に出展したほか、平成23年11月にメカニカルパーツ&システム総合展として「MEKASYS in OSAKA」を開催するなど、支店・営業所単位でも展示会を企画し運営してまいりました。また当社Webカタログの製品情報サイト及び商品カタログ名である『MEKASYS』を日伝ブランドとして浸透させるべくその情報サイト機能の強化を促進し、マーケティング活動などにも取り入れ注力してまいりました。

設備面では、平成23年9月に手狭になりました西淀営業所の業務効率を高めるとともに、販売力をさらに強化するため移転し、北大阪営業所に名称を変更いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高632億6千5百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益29億9千3百万円（前年同期比22.7%増）、経常利益31億1千8百万円（前年同期比21.9%増）となり、四半期純利益につきましては、17億6千6百万円（前年同期比24.6%増）と増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ2億1千4百万円減少し、647億4千9百万円となりました。流動資産は、前事業年度末に比べ5千3百万円増加し、481億1千2百万円となりました。これは、商品が5億3千6百万円増加、受取手形及び売掛金が3億4千6百万円増加、現金及び預金が6億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億6千7百万円減少し、166億3千7百万円となりました。これは、有形固定資産が2億9千7百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期末における負債合計は、前事業年度末に比べ11億6千7百万円減少し、117億4千6百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ11億1千万円減少し、89億3千6百万円となりました。これは、未払法人税等が7億8千9百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ5千6百万円減少し、28億1千万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が12億1千5百万円増加したこと等により前事業年度末に比べ9億5千2百万円増加し、530億2百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成23年5月10日の決算発表時に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,970	23,345
受取手形及び売掛金	19,460	19,807
商品	4,082	4,619
その他	562	359
貸倒引当金	△17	△20
流動資産合計	48,059	48,112
固定資産		
有形固定資産	9,589	9,291
無形固定資産	306	227
投資その他の資産		
その他	7,027	7,137
貸倒引当金	△18	△19
投資その他の資産合計	7,009	7,118
固定資産合計	16,905	16,637
資産合計	64,964	64,749
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,743	7,469
未払法人税等	1,255	466
賞与引当金	479	247
その他	568	753
流動負債合計	10,047	8,936
固定負債		
退職給付引当金	292	470
その他	2,573	2,339
固定負債合計	2,866	2,810
負債合計	12,914	11,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,368	5,368
資本剰余金	7,283	7,283
利益剰余金	39,180	40,396
自己株式	△560	△560
株主資本合計	51,271	52,487
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778	515
繰延ヘッジ損益	0	—
評価・換算差額等合計	778	515
純資産合計	52,050	53,002
負債純資産合計	64,964	64,749

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	58,585	63,265
売上原価	50,183	54,137
売上総利益	8,401	9,128
販売費及び一般管理費	5,962	6,134
営業利益	2,438	2,993
営業外収益		
仕入割引	239	258
その他	121	119
営業外収益合計	360	377
営業外費用		
支払利息	61	59
売上割引	171	188
その他	8	4
営業外費用合計	240	252
経常利益	2,558	3,118
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産処分損	53	3
投資有価証券評価損	—	29
その他	1	0
特別損失合計	54	33
税引前四半期純利益	2,504	3,092
法人税、住民税及び事業税	1,105	1,207
法人税等調整額	△19	118
法人税等合計	1,085	1,325
四半期純利益	1,418	1,766

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 5. 補足情報

### (生産、受注及び販売の状況)

#### ① 販売実績

期別	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	26,672	45.5	28,891	45.7	2,218
産業機器	11,638	19.9	12,509	19.8	870
制御機器	20,273	34.6	21,865	34.5	1,591
合計	58,585 (794)	100.0 (1.4)	63,265 (716)	100.0 (1.1)	4,680 (△78)

(注) 1 ( )内は輸出高及び輸出比率であり、内数であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

#### ② 仕入実績

期別	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		比較増減 金額(百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
動力伝導機器	22,970	44.8	24,477	44.8	1,507
産業機器	10,189	19.9	10,862	19.9	672
制御機器	18,065	35.3	19,334	35.3	1,268
合計	51,225	100.0	54,674	100.0	3,448

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。